

## いっしょにあそぼ! in 長久手市

- 日 時 令和7年9月20日(土)10時半から13時(最終入場12:30)
- 場 所 リリモテラス公益施設
- 参加数 子ども39名 保護者43名(計82名)
- 対 象 3歳未満の子どもとその家族
- 参加費 無料
- 目 的 家庭的保育という少人数でアットホームな関係を作りやすい保育形態を多くの方に知っていただく活動の一つとして、日本一若いまちとして知られ人口が増加し子育て環境・将来性で評価される長久手市で家庭的保育者が、全国の家庭的保育者とともに子育て世代に遊びを通じてきめ細やかな保育の良さを知っていただくことを目的に開催しました。

3月、長久手市で「いっしょにあそぼ!」を開催しないかとNPO 法人家庭的保育全国連絡協議会の事務局の方からお話を頂きました。

本市は家庭的保育事業が2012年委託事業として始まり2か所ありますが

入所された保護者からも、家庭的保育を知らなかったという声が多かったことから

開催をお受けすることにしました。



### 開催に向けての準備

事務局の方から、過去の開催資料を送付していただき、読み込むところからスタートしました。実はコロナ禍以前にも、在園児・卒園児・市内の子育て親子を対象にイベントを毎年行っていました。しかし、その開催施設が今年にかぎって大規模修理中であり、開催場所を探すのに日数がかかりました。規約などで借りられない施設もあるなか、子どもを含め多くの市民の交流拠点をコンセプトにしている施設をお借りすることとなりました。

市役所にも開催の趣旨を伝えに出かけ、後援名義使用許可申請を依頼にも出かけました。

申請から許可がおりるまで、日数がかかることを十分に考えていなかったため、同時進行のチラシ作りの印刷の申し込みが進みにくかったので、依頼は早めにするべきだったと思いました。チラシの図柄など事務局の方々からご意見もいただきながら作成し、内容を伝えることの客観性を学べました。

## 開催にむけて

チラシの完成後、市役所に持参しました。児童館や各保育園にもおいていただけるとのことで子育て世代の方々の目に留まったことと思います。

行事保険の加入申請先の社会福祉協議会の担当の方も快くチラシを預かって下さいました。

暑さの影響で公園に人がいないという状態で、チラシも思ったほど配ることができませんでした。

園児以外の方を対象にした大きなイベントに、スタッフもコツコツ準備を重ね、内容を検討しあい、一つの目標に向かい、日常の保育に加えてますます意欲的に準備をすすめることができました。

協議会の方々にも、譲りますコーナーにご協力いただき

子どもに喜ばれる玩具をたくさん揃えられました。



## 当日を迎えて

天気予報も数日前から雨のマークが出ていましたが、

小雨が時折ぱらつく程度でした

事務局の方を含め 10 名の家庭的保育者が遠方から来て

下さり、9 時に総勢 16 名で顔合わせ、最終打合せをしました。

隣接する商業施設の付近、離れたエリアにも足を延ばし

チラシ配りもして下さり、今そこで開催を知ったという方も

来て下さいました。総勢 82 名を迎え盛況に開催できました。



会場では 3 つの部屋とその中間の共有部分をお借りしました。

かなり広くゆったりと分散して過ごしてもらえたかと思います。

第一のリニモの部屋では愛知万博の際、会場への移動手段として開通したリニアモーターカーを段ボールで作る乗車体験。改札機は IC カードを（紙製）ピッとかがずと光る電球もついていて大人気でした。折り紙でつくるドーナツを体験コーナーにもぎわいました。

第二の猫バスのフォトスポット、譲りますコーナーも対応に追われるほど人気でした。

家庭的保育の全国 7 か所のご紹介ボードも展示し全国に存在しそれぞれの特徴も知っていただきました

第三のくつろぎの部屋は、畳の落ち着いた部屋で

0 歳児さんがマットの上に横たわりながら、ゆったりとお話をすることができました。



## ステージタイム

3 回に分けて 10 分程度の時間を設けました。**せんせいとおともだち**♪の歌から始まり  
絵本・パネルシアター・わらべ歌と保育室での和気あいあいとした雰囲気を知ってもらいました。  
続いて、インタビューコーナーで各回協議会の方に各保育室の事、家庭的保育の良さを  
語っていただきました。この地域だけではなく家庭的保育が全国的に  
そして家庭的保育が長い歴史と共に行われてきていることを話してくだ  
さいました。ステージタイムの締めくくりは、みんながよく知っている、  
**からだ☆ダンダン**を一緒に踊りました。



## アンケート

受付と帰り際と 2 か所にアンケートを用意しました。各自当てはまるところに可愛いシールを貼って  
もらう形態にして気軽に返答してもらえるのではないかと思います。帰りには具体的な一言を書い  
ていただく、葉っぱの形の付箋を用意しました。  
ドーナツづくりがたのしかったと、子どもの文字のメッセージや、家庭的保育が知れてよかった、来年  
もこのイベントにきたいなど嬉しいメッセージをいただきました。  
イベントに参加前・参加後の家庭的保育についての理解がたくさんのシールで埋められていて、  
よかったと思いました。

## イベントを終えて

家庭的保育を始めたばかりの時、保護者の方から入園するまで家庭的保育を知らないことからの  
不安が多かったと聞いたことがありました。今回のような周知の機会は、保育園選び中の保護者は  
もちろん、初めての子育てで保育士と気軽に話せて保育室の雰囲気を知るきっかけに役に立つ良  
い機会と思いました。

印象に残ったのは、ステージタイムでの簡単な繰り返しの歌をお父さんたちが口ずさむ声。童心  
に帰って子どもと共に楽しんでくれていて、子育ての楽しさを感じていらっしゃるのだと思いました。  
保護者にとって子育てがもっと安心してできる為に、少人数で保育者との関係が作りやすい家庭的  
保育を選択肢にいれてもらえるようになって欲しいと思いました。

今回は、偶然にも地域の夏祭りで国会議員の方をご紹介して頂き、いっしょにあそぼ!開催をお  
伝えしたところ、当日来場くださり家庭的保育の現状も聞いていただくことができました。ご自身の  
SNS にも載せてくださっています。

また、会場スタッフの方もイベント開催の様子を朝一番に SNS で発信してくださり、「朝 SNS を  
見て参加した」という親子連れがいました。若い世代への周知媒体に合わせていくことも大切だと  
思いました。

最後になりましたが協議会の皆さんが開催まで丁寧なアドバイスをしてくださった事、大変心強く  
感じました。全国にこんなに家庭的保育の連携があることも家庭的保育の魅力だと思います。  
ありがとうございました。